

月刊びゃっきープレス

2008

無料配布

↑あたりまえ

ライブ予定

2008 年 9 月 10 日(日)  
東高円寺 KAZTOU  
2008 年 9 月 11 日(木)  
阿佐ヶ谷 Next Sunday  
2008 年 9 月 21 日(日)  
平山図書館 3 階大ホール

8 月号

毎月初回ライブ日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟  
http://www.satram.jp/byacky/  
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

byacky press



←仕事場の打ち合わせ机前で撮影。「Appraise」ギターらしいが、ストラップにはフェンダーと書いてある。



丸みを帯びたボディ

なぜ妹がそんなものを持っているかと言うと、昔兄妹で「MRBIG」というバンドのファンをやっていた、そのバンドの「To Be With You」なる曲をコピーしたくて買ったのではないかと分析している。

感想。弾きにくい。その後ろが丸く球状になってしまったため、すべってしまっ安定しない。仕方なくストラップをすること。そして、早速家にある小型のアンブレ

スピーカーに繋いでみた。感想。音が出まぜん。何か電池が入っていないとラインが活躍しないらしい。電池ボックスらしきものがあり、9Vと書いてある。何か四角くて大きい、大昔にラジコンカーを動かすのに使っていたような電池が必要らしい。そんなもの今どき売っているのか?と思いつつコンビニへ行くと、普通に売っていた。早速買ってきてセットし、悩まされ続けたカバー曲を軽く演奏してみた。

今現在「びーちゃん」は、昼休みに練習できるように、会社に常備されている。返す気がさらさらないので、妹は今幸せそうなので、許されるだろう。(びゃっきー)

# エレアコ

7月、うまくギターを鳴らせない分を、機械で増幅しようと画策したびゃっきーは、妹の家に眠っているエレアコに目を付け、拝借した(まま持ち逃げしようと考えている)。いざ、演奏を機械で増幅してみると、ノイズやミスなども増幅されるため、そう単純ではないことを思い知らされた。現在そのギターは会社に常備されている。

半年以上、あるカバー曲に悩まされ続けていたびゃっきー。ついに逃げを考え始め、うまく鳴らせない分を機械的な増幅でカバーしよう

そして願いも虚しく5秒で挫折し、放置されたという経緯ではないかと思う。ここにこんなこと書いては妹の怒る顔が思い浮かぶようであるが、現在幸せそうなので許されるだろう。

そんなわけで、壁の華となっていたギターをびゃっきーは拝借することにした。訂正。華でもねんでもない。すげえ汚ねえ。弦がサビまくっているのは勿論だが、ボディも埃だらけで、おそらくタバコのヤニやないかと思うが、なんか全体ベトついてて、乾いた布なんかで拭いてもおっつかず、泣く泣く雑巾でギターを拭く羽目。ピカピカになぞなろうは、それがないので、ある程度拭いたら、弦を張り替え早速弾いてみることにした。

がマシンです。ミスは目立つし、指を離した時に弦が鳴ってしまったのがとにかく気になる。というわけで、7月のライブで結局そのカバー曲はやったのだが、借りてきた「びーちゃん(妹の名前)でなく「SAMURAI」でやることにした。

# ライブの力に頼るべく

# 予想外の結果 そんなに甘くない



↑「エレ」だけあってとてもメカニカル。

録音にも適しているのでは